

[仕事の便利術] 上手なあやまり方, 頼み方, 断り方

●受講期間 2ヵ月

●受講料 12.100円

マルチデバイス対応

■テキスト1冊(Webテキストも閲覧可) ■添削レポート2回(Web提出可)

難しい「あやまり方」「頼み方」「断り方」の原則を学習

同じ「あやまり方」をしているようでも差が出るのはなぜか

一 相手の怒りを鎮め、納得してもらえる次につながる

「あやまり方」のセオリーを身につける

頼んだ相手が喜んでやってくれる「頼み方」。

断った相手との関係を悪くしない「断り方」の急所を学ぶ



上手なあやまり方、頼み方の基本

- •あやまらない、あやまれない人に共通の特徴
- あやまりたくないという心理が問題を大きくする •そのあやまり方が相手を不快にさせ、怒らせる
- 納得性の高いあやまり方のポイント
- あやまるタイミングが謝罪の効果を高める 頼むことは相手のいること
- 頼みごとはわかりやすく、丁寧に
- 当然引き受けてくれると思わない
- 頼みにくさの壁をどう乗り越えるか
- 頼むだけでなく、頼まれることも必要

●第2単元

上手な断り方の基本と若干の応用

・断ることは、いけないことなのか

- ・できないこと、無理なことははっきり断る
- ぐずぐず躊躇していると断れなくなる
- ・断りづらくなる「罠」には要注意
- ・恨まれたり、不機嫌にさせたりしない断り方
- ・(クレーム対応)お客様からの苦情には、飛んで行くべし!
- ・(クレーム対応)年末最後の厄日、多発する現場トラブル
- ・(クレーム対応)電話での姿の見えないお客様 ・(あやまり方)お互いなかなかあやまれない夫婦
- ・(頼み方)頼むことは任せること、立てば歩めの親心

※カリキュラム・講座内容などは改訂や変更になる場合があります。

一般社団法人日本監督士協会

よろしく